



2027年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2026年8月12日

上場会社名 株式会社紀文食品

上場取引所 東

コード番号 2933 URL <https://www.kibun.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 國松 浩

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼副社長執行役員グループ統括室長 (氏名) 上野 勝

TEL 03-6891-2600

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績(2026年4月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	24,213	2.7	22	93.7	50	—	153	—
2026年3月期第1四半期	24,874	7.6	359	20.3	189	58.8	48	79.2

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 276百万円 (—%) 2026年3月期第1四半期 270百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	6.73	—
2026年3月期第1四半期	2.11	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	79,790	25,650	31.3
2026年3月期	80,307	26,440	32.0

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 24,967百万円 2026年3月期 25,719百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00
2027年3月期	—				
2027年3月期(予想)		0.00	—	23.00	23.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	116,873	5.3	5,208	59.5	4,340	60.8	2,559	132.7	112.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社の事業の特性から第3四半期連結会計期間に売上・利益が集中するため、第2四半期連結累計期間の業績予想の記載を省略しております。

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2027年3月期1Q	22,829,781 株	2026年3月期	22,829,781 株
2027年3月期1Q	106 株	2026年3月期	106 株
2027年3月期1Q	22,829,675 株	2026年3月期1Q	22,829,683 株

期末自己株式数

期中平均株式数 (四半期累計)

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点において入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく変わる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(セグメント情報等の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(四半期連結損益計算書に関する注記)	10
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益又は 経常損失(△)	親会社株主に帰属 する四半期純利益 又は親会社株主に 帰属する四半期純 損失(△)
2027年3月期第1四半期連結累計期間	24,213	22	△50	△153
2026年3月期第1四半期連結累計期間	24,874	359	189	48

当第1四半期連結累計期間における我が国の経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果により着実な回復傾向が続きました。また、消費者物価は緩やかな上昇傾向が続き、加えて中東情勢や金融資本市場の変動の影響を引き続き注視する必要がある、先行きに対しては不確実性が高く、不透明感が続いております。

このような環境下において、当社グループでは、「中期経営計画2026」の目標である『持続的に成長できる強固な企業体質の構築』の達成に向け、引き続き既存事業領域における確実な成長と、事業領域の拡大により成長を図る『成長戦略の推進と新たな価値創造』に取り組んでおります。また、成長を促進させる収益構造に向けた『資本効率の改善』と、今後の成長を支える『経営基盤の整備』に注力しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は24,213百万円と前年同期比661百万円の減収(2.7%減)となりました。営業利益は22百万円と前年同期比337百万円の減益(93.7%減)、経常損失は50百万円と前年同期比239百万円の減益(前年同期は経常利益189百万円)となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純損失は153百万円と前年同期比201百万円の減益(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益48百万円)となりました。

なお、当社グループの売上高・営業利益は、主力商品であるスリミ製品・惣菜の需要が秋冬季におでん・鍋物等向けを中心に高まることに加え、おせち料理関連商品の売上が12月に計上されることから、第3四半期に偏重する傾向にあります。前年度及び当年度における当社グループの各四半期における売上高及び通期の売上高に対する割合、営業利益は次のとおりであります。

(単位：百万円)

	2026年3月期 前連結会計年度				2027年3月期 当連結会計年度			
	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期
売上高 (通期割合)	24,874 (22.4%)	23,989 (21.6%)	35,848 (32.3%)	26,324 (23.7%)	24,213 (20.7%)	—	—	—
営業利益又は 営業損失(△)	359	△773	3,070	609	22	—	—	—

(注) 当連結会計年度の売上高の通期割合については、連結業績予想に対する割合を記載しております。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

(国内食品事業)

国内食品事業では、国内において食品の製造及び販売を行っております。

売上面では、積極的なプロモーションを展開した「The SURIMI」をはじめとしたカニカマや、当社独自製品である「チーちく®」や「竹笛」など生竹輪が牽引し、スリミ製品は堅調に推移しました。一方、中華餃子などの中華カテゴリーを中心とした惣菜商品が、価格競争激化の影響を受け、販売が減少しました。

商事部門では、需要増加に伴い玄蕎麦の販売が好調に推移しましたが、アフリカ産胡麻は産地事情により大きく販売が減少しました。

利益面では、自社製品比率が増加し、小売部門向けの売上構成比も高まったものの、中東情勢の影響による一部資材の高騰により減益となりました。この対策として、本年9月の秋冬商戦から商品の価格改定を予定しております。

この結果、当セグメントの売上高は16,186百万円と前年同期比547百万円の減収(3.3%減)となり、セグメント損失は320百万円と前年同期比69百万円の減益(前年同期はセグメント損失251百万円)となりました。

(単位：百万円)

	前連結会計年度		当連結会計年度	
	売上高	セグメント 損失(△)	売上高	セグメント 損失(△)
第1四半期連結累計期間	16,734	△251	16,186	△320

(海外食品事業)

海外食品事業では、海外において食品の製造及び販売を行っております。

売上面では、各国の通商政策や金融政策による市場経済の動向が消費者心理にも影響を与え、依然として節約志向が強まっています。このような市場動向に適応するため、スリミ製品や惣菜・甘味など様々な日本食材の商品提案と展開を進めています。その中で、中国市場向けでは、内陸部に新たな問屋を開拓し販路拡大に努めると共に、ECでのプロモーション展開を実施し、好調に推移しました。またタイ国内市場向けでも販売の回復傾向が継続しています。一方米国市場では、前年同期は相互関税導入前の駆け込み需要などにより大きく伸長しましたが、当期はその反動もあり、事業全体としては減収となりました。

利益面では、主力のカニカマなど付加価値の高いスリミ製品の販売減に伴い製品MIXが悪化したことで減益となりました。

この結果、当セグメントの売上高は2,650百万円と前年同期比343百万円の減収(11.5%減)となり、セグメント利益は103百万円と前年同期比158百万円の減益(60.4%減)となりました。

(単位：百万円)

	前連結会計年度		当連結会計年度	
	売上高	セグメント利益	売上高	セグメント利益
第1四半期連結累計期間	2,994	262	2,650	103

(食品関連事業)

食品関連事業では、国内において食品の運送、その他食品に関連した事業を行っております。

売上面では、当セグメントの中心である物流事業において、新規顧客の獲得や新センターの稼働開始、インバウンド需要で引き続き好調な外食産業や販促効果に伴い、好調な飲料・食品メーカー等の既存顧客の物量が増加し、増収となりました。

利益面でも、物量増に伴う共同配送の積載率向上や、センター構内作業自動化の推進や非効率業務の見直しなど業務及び事業の効率化が寄与し、増益となりました。

この結果、当セグメントの売上高は5,375百万円と前年同期比229百万円の増収(4.5%増)となり、セグメント利益は283百万円と前年同期比57百万円の増益(25.5%増)となりました。

(単位：百万円)

	前連結会計年度		当連結会計年度	
	売上高	セグメント利益	売上高	セグメント利益
第1四半期連結累計期間	5,146	225	5,375	283

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は30,233百万円となり、前連結会計年度末に比べ833百万円減少いたしました。これは主に商品及び製品が1,381百万円増加した一方、現金及び預金が2,235百万円減少したことによるものです。

固定資産は49,557百万円となり、前連結会計年度末に比べ316百万円増加いたしました。これは主に退職給付に係る資産が323百万円増加したことによるものです。

この結果、総資産は79,790百万円となり、前連結会計年度末に比べ516百万円減少いたしました。

（負債）

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は27,154百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,476百万円増加いたしました。これは主に運転資金の調達により短期借入金が1,467百万円増加したことによるものです。

固定負債は26,985百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,204百万円減少いたしました。これは主に社債の償還により社債が171百万円減少、資金の返済により長期借入金が1,091百万円減少したことによるものです。

この結果、負債合計は54,140百万円となり、前連結会計年度末に比べ272百万円増加いたしました。

（純資産）

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は25,650百万円となり、前連結会計年度末に比べ789百万円減少しました。これは主に剰余金の配当等により利益剰余金が610百万円減少、その他の包括利益累計額合計が142百万円減少したことによるものです。

この結果、自己資本比率は31.3%（前連結会計年度末は32.0%）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年3月期の連結業績につきましては、2026年5月15日に公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,292,203	6,057,015
受取手形、売掛金及び契約資産	11,481,592	10,501,856
商品及び製品	7,721,744	9,103,661
仕掛品	352,821	860,324
原材料及び貯蔵品	2,319,357	2,658,504
その他	910,976	1,063,191
貸倒引当金	△12,142	△11,447
流動資産合計	31,066,553	30,233,106
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,194,136	5,145,685
機械装置及び運搬具（純額）	2,859,441	2,818,818
土地	5,734,293	5,730,201
その他（純額）	5,155,111	5,247,245
有形固定資産合計	18,942,982	18,941,950
無形固定資産	230,853	257,548
投資その他の資産		
投資有価証券	2,317,971	2,285,903
退職給付に係る資産	26,543,675	26,867,234
繰延税金資産	124,669	123,629
その他	1,082,745	1,084,158
貸倒引当金	△2,041	△2,721
投資その他の資産合計	30,067,020	30,358,204
固定資産合計	49,240,855	49,557,703
資産合計	80,307,409	79,790,809

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,932,818	9,683,714
短期借入金	3,872,539	5,340,475
1年内償還予定の社債	1,135,560	1,135,560
1年内返済予定の長期借入金	5,176,470	4,895,101
未払法人税等	519,510	170,747
賞与引当金	971,269	618,340
その他	5,069,068	5,310,276
流動負債合計	25,677,236	27,154,214
固定負債		
社債	2,893,480	2,722,090
長期借入金	11,866,096	10,774,346
繰延税金負債	8,356,209	8,260,688
退職給付に係る負債	334,225	332,911
資産除去債務	342,676	344,966
その他	4,397,472	4,550,939
固定負債合計	28,190,158	26,985,942
負債合計	53,867,395	54,140,157
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,368,788	6,368,788
資本剰余金	1,942,988	1,942,988
利益剰余金	10,521,511	9,911,295
自己株式	△125	△125
株主資本合計	18,833,162	18,222,946
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	444,584	442,056
繰延ヘッジ損益	35,618	32,658
為替換算調整勘定	1,449,036	1,438,950
退職給付に係る調整累計額	4,957,397	4,830,540
その他の包括利益累計額合計	6,886,637	6,744,205
非支配株主持分	720,214	683,500
純資産合計	26,440,013	25,650,652
負債純資産合計	80,307,409	79,790,809

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 2025年 4 月 1 日 至 2025年 6 月 30 日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 2026年 4 月 1 日 至 2026年 6 月 30 日)
売上高	24,874,719	24,213,037
売上原価	19,693,808	19,450,031
売上総利益	5,180,911	4,763,005
販売費及び一般管理費	4,821,004	4,740,478
営業利益	359,906	22,527
営業外収益		
受取利息	8,658	7,518
受取配当金	28,370	26,621
持分法による投資利益	22,412	18,848
為替差益	—	53,869
その他	10,839	35,871
営業外収益合計	70,280	142,729
営業外費用		
支払利息	169,154	208,492
為替差損	27,792	—
その他	43,700	7,214
営業外費用合計	240,646	215,706
経常利益又は経常損失(△)	189,540	△50,449
特別利益		
固定資産売却益	10	—
特別利益合計	10	—
特別損失		
固定資産除売却損	10,024	20
減損損失	10,376	9,691
特別損失合計	20,401	9,712
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	169,149	△60,162
法人税、住民税及び事業税	135,286	102,098
法人税等調整額	△34,711	△31,381
法人税等合計	100,574	70,716
四半期純利益又は四半期純損失(△)	68,575	△130,878
非支配株主に帰属する四半期純利益	20,351	22,744
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	48,223	△153,622

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	68,575	△130,878
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	60,051	△3,351
繰延ヘッジ損益	6,497	△2,960
為替換算調整勘定	△396,918	△9,702
退職給付に係る調整額	4,070	△130,939
持分法適用会社に対する持分相当額	△12,756	840
その他の包括利益合計	△339,055	△146,113
四半期包括利益	△270,480	△276,992
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△290,715	△296,054
非支配株主に係る四半期包括利益	20,234	19,062

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

Ⅰ 前第 1 四半期連結累計期間(自 2025 年 4 月 1 日 至 2025 年 6 月 30 日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	国内食品事業	海外食品事業	食品関連事業			
売上高						
外部顧客への売上高	16,734,303	2,994,052	5,146,363	24,874,719	—	24,874,719
セグメント間の内部売上高 又は振替高	570,665	686,963	1,381,213	2,638,841	△2,638,841	—
計	17,304,969	3,681,015	6,527,576	27,513,561	△2,638,841	24,874,719
セグメント利益又は損失(△)	△251,391	262,443	225,483	236,535	123,370	359,906

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額123,370千円は、主にセグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「国内食品事業」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第 1 四半期連結累計期間においては、10,376千円であります。

Ⅱ 当第 1 四半期連結累計期間(自 2026 年 4 月 1 日 至 2026 年 6 月 30 日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	国内食品事業	海外食品事業	食品関連事業			
売上高						
外部顧客への売上高	16,186,325	2,650,824	5,375,887	24,213,037	—	24,213,037
セグメント間の内部売上高 又は振替高	655,228	647,808	1,486,864	2,789,900	△2,789,900	—
計	16,841,554	3,298,632	6,862,752	27,002,938	△2,789,900	24,213,037
セグメント利益又は損失(△)	△320,952	103,804	283,071	65,923	△43,395	22,527

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△43,395千円は、主にセグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「国内食品事業」セグメント及び「食品関連事業」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第 1 四半期連結累計期間においては、「国内食品事業」9,001千円、「食品関連事業」690千円であります。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結損益計算書に関する注記)

季節要因による影響について

当社グループの業績は、主要な事業であるスリミ製品の需要が特に秋冬期に集中するため、季節変動があります。特に春夏期は、需要が少ない時期であります。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	490,618千円	552,399千円